

ユニテック PT600 ハンディターミナル 小売業チェーン店向けソフトウェア操作説明書

開発: (株)ユニバーサルシステムズ

概要

本ソフトウェアは PT600 ハンディターミナルに内蔵される操作プログラムと、PC で PT600 からのデータを取り込むためのプログラムで構成されています。

メインスクリーン

PT600を起動すると次の6つのメニュー項目が現れます。

1. 棚卸	2. 発注
3. 通信	4. クリア
5. 設定	6. 削除

- 1. 棚卸 棚卸入力を行います
- 2. 発注 発注入力を行います
- 3. 通信 パソコンにデータを転送します
- 4. クリア PT600内部データを全て削除します
- 5. 設定 データ転送の設定を行います
- 6. 削除 棚卸用：棚区分を指定してデータを削除します

1. 棚卸

メインメニューより棚卸を選びます。 【1を押してください】

担当： と表示されますので、担当者のコードを3桁で入力してください。

例) 担当者コード「10」の場合 010 と3桁入力

店舗： と表示されますので、店舗コードを6桁で入力してください。

例) 店舗コード「100」の場合 000100 と6桁入力

日付が 2000/01/06 のように表示されます。

その日付で良い場合は、ENTを押してください。 【ENTを押す】 へ

変更したい場合はその他のキーを押してください。 【その他を押す】 -2へ

-2 日付を 年4桁、月2桁、日2桁 で入力してください。

例) 2000/01/10 のように入力します。「/」は自動的に表示されます。

棚区分： と表示されますので、棚区分コードを入力してください。

アルファベットの入力は別項「アルファベットの入力」参照

JAN： と表示されますので、バーコードをスキャンするか、
数字を入力してください。

個1、ケース2： と表示されますので、数量の単位を入力してください。

1で個数、2でケース数となります。

数量： と表示されるので、数量を入力してください。1～9999 へ

、 が繰り返されますので、入力続けてください。

棚区分の変更 のJANの入力時に、F3を押すと棚全体の数量チェック後、
棚区分の入力画面になります。

棚卸入力の終了 F4を押すとメニューに戻ります。

2. 発注

メインメニューより発注を選びます。 【2を押してください】

担当： と表示されますので、担当者のコードを3桁で入力してください。

例) 担当者コード「10」の場合 010 と3桁入力

日付が 2000/01/06 のように表示されます。

その日付が良い場合は、ENTを押してください。 【ENTを押す】 へ

変更したい場合はその他のキーを押してください。 【その他を押す】 -2へ

-2 日付を 年4桁、月2桁、日2桁 で入力してください。

例) 2000/01/10 のように入力します。「/」は自動的に表示されます。

JAN： と表示されますので、バーコードをスキャンするか、

数字を入力してください。

個1、ケース2： と表示されますので、数量の単位を入力してください。

1を入力すると個数、2を入力するとケース数になります。

数量： と表示されるので、数量を入力してください。1～9999 へ

、 が繰り返されますので、入力続けてください。

発注入力の終了 F4を押すとメニューに戻ります。

3. 通信

メインメニューより通信を選びます。 【3 を押してください】

データ取込の準備後 [ENT] と表示されるので、PCでデータ取込プログラムを起動させ「データ作成」ボタンを押した後、[ENT] を押してください。

【ENTを押してください】

PCへデータが転送されます。

データの転送がすべて完了すると、正常終了と表示され、PT600内部のデータが削除されます。

転送中にエラーが発生すると、異常終了と表示され、通信処理を中断します。

その場合、データは元のままです。

通信終了後、「ENT」を押すとメニューに戻ります。

4. クリア

メインメニューよりクリアを選びます。 【4 を押してください】

データクリア 1 実行 2 キャンセル と表示されますので、

クリアする場合は 1 を押してください。 へ

キャンセルする場合は 2 を押してください。 メニューに戻ります。

1 実行を選んだ場合、「Erase all?」と最終確認が表示されます。

ENT を押すと全データの削除が実行されます。

このとき、「N」を入力すると、削除をキャンセルできます。

削除、もしくはキャンセル後は、自動的にメニューに戻ります。

6. 削除

メインメニューより削除を選びます。 【6 を押してください】

[削除]棚区分： と表示されますので、削除したい棚区分を入力してください。

棚区分入力時に **F4** を押すと、メニューに戻ります。

棚区分を入力すると、検索が始まり、データを削除します。

データの削除が終了すると、「終了」と表示されますので、何かキーを押してください。

メニューに戻ります。

英文字(アルファベット)の入力方法

入力時のアルファベットの入力方法は以下の通りです。

「ALPHA」キーを押すことで、カーソルの形が変わり、数字・アルファベットの入力モードを切り替えることができます。

（四角いカーソル） 数字の入力
_ （アンダーバー） アルファベットの入力

カーソルをアンダーバーにして、キーを押すと、キー上の3文字の真ん中にある文字が入力されます。

例) カーソルがアンダーバーで、「5」のキーを押した場合。 「N」が入力されます。

3つの並んだ文字のうち、左側もしくは右側の文字を入力する場合は、カーソルをアンダーバーにして、左側なら「」キー、右側なら「」キーを押した後、数字のキーを押してください。

例) 「M」を入力したい場合。

カーソルをアンダーバーにして、「」キーを押したのち、「5」キーを押す

例) 「X」を入力したい場合。

カーソルをアンダーバーにして、「」キーを押したのち、「2」キーを押す

アルファベット入力モード(カーソルがアンダーバー)は、文字入力後も保持されていますので、数字を入力する場合は、もう一度「ALPHA」キーを入力して、カーソルを四角に戻してください。

データ取込プログラム(PC側)

- ・セットアップ方法

SETUP.EXEを起動して、画面の指示に従ってください。

- ・使用するCOMMポート

標準ではCOMM1を使用します。

出力データフォーマット

棚卸データ：TANA.CSV (CSV形式、区切り「,」、文字区切り「"」)

データ	サイズ	備考
入力日時	文字14桁	yyyymmddhhnss (年4,月2,日2,時2,分2,秒2 桁)
担当者コード	文字3桁	
店舗コード	文字6桁	
棚卸日	文字8桁	yyyymmdd(年4,月2,日2 桁)
棚区分	文字3桁	
JANコード	文字13桁	8桁のデータ時は頭Zero埋め
入力単位	文字1桁	1:個数 2:ケース数
数量	数字4桁	

発注データ：ORDER.CSV (CSV形式、区切り「,」、文字区切り「"」)

データ	サイズ	備考
入力日時	文字14桁	yyyymmddhhnss (年4,月2,日2,時2,分2,秒2 桁)
担当者コード	文字3桁	
発注日	文字8桁	yyyymmdd(年4,月2,日2 桁)
JANコード	文字13桁	8桁のデータ時は頭Zero埋め
入力単位	文字1桁	1:個数 2:ケース数
数量	数字4桁	

・ PT600.INI (設定ファイル)

ORDER="PATH" : 発注データの出力先をファイル名も含めて指定します
TANA="PATH" : 棚卸データの出力先をファイル名も含めて指定します
ORDER_BACK="" : 発注データのバックアップファイルの出力先をファイル名も含めて指定します
(拡張子を含めないでください。文字列の最後尾に「日時.CSV」が付加されます)
TANA_BACK="" : 棚卸データのバックアップファイルの出力先をファイル名も含めて指定します
(拡張子を含めないでください。文字列の最後尾に「日時.CSV」が付加されます)
Port="" : 通信用のCOMMポートの番号を指定してください
Settin="" : 通信用の設定です。変更しないでください

バックアップ用の設定は以下の通りです。

棚卸データのバックアップを、Cドライブの¥DATAにTANAXXXXXX.CSV(XXXは日時)で保存したい場合

TANA_BACK="C:¥DATA¥TANA"

作成されるファイル(2000年10月30日 12:34に作成した場合)

TANA200010301234.CSV

データ保存先の初期設定

発注データ : C:¥H¥1.CSV

棚卸データ : C:¥T¥2.CSV

バックアップデータ : C:¥B¥Hyyyymmddhhnn.CSV - 発注

: C:¥B¥Tyyyymmddhhnn.CSV - 棚卸